

第4回三重のふるさとシンポジウム ～中山間地域の集落と農業を考える～ 開催要領

○開催趣旨

美しい景観や豊かな歴史文化を有する三重県の中山間地域は、その地域に住む人々の手によって守られています。しかし農業の担い手や地域住民の減少とともに、集落を維持することが難しくなっています。一方、このような現状を打破するため、活力ある集落営農の運営や、地域住民の共同活動によって、魅力ある農村を将来に渡って維持していくための取組が多く見られます。

そこで、中山間地域の農業者や住民、支援機関の関係者が、さまざまな事例に学びながら現状を共有し意見交換することで、さらに有効な農村振興につなげていくことを目的に、本シンポジウムを開催します。

○会場 三重県総合文化センター小ホール（津市一身田上津部田1234）

○日時 平成29年3月9日（木） 13：30～16：30（受付13：00～）

○主催 三重県

○参加費 無料

○プログラム

1) 開会・挨拶 13：30～13：35

2) 基調講演（60分） 13：35～14：35

「中山間地域の集落と農業の未来を考える」

講師：生源寺眞一氏（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

中山間地域という言葉がなかった時代から、中山間地域の農業経済の研究に携わり、特定非営利法人中山間地域フォーラムの会長としても地域の再生に尽力している研究者。現在、農林水産省の食料・農業・農村政策審議会会長等の要職を務める。

地域ごとに独自性が際立つ中山間地域の集落ではあるものの、そこには共通する本質的な要素があり、世代を超えて受け継がれています。中山間地域ならではの実情を踏まえ、集落と農業の未来についてお話ししていただきます。

3) 中山間地域の情勢報告（15分） 14：35～14：50

「女性の視点から見た中山間地域農業の取組について」

東海農政局農村振興部農村計画課 直接支払係長 大谷朋子氏

中山間地域等直接支払に取り組む集落を中心に、中山間地域農業の活性化に向けた取組状況を女性ならではの視点も含めて報告します。

(休憩10分 14:50~15:00)

4) 県内事例報告 (35分) 15:00~15:35

①中山間地域等直接支払交付金の活用事例

いなべ市東貝野集落における交付金を活用した取組事例

②中山間地域における集落営農の取組事例

津市美里町高座原集落における農事組合法人高座原生産組合の取組事例

5) 県外事例報告 (50分) 15:35~16:25

「中山間地域における地域対策と農業対策の一体化」

～集落を守り、若い担い手の受け皿となり持続可能な集落営農のために～

農事組合法人ファーム・おだ 理事長 吉弘昌昭氏

広島県東広島市の中山間地域(旧河内町小田地区)で、集落ぐるみの営農組織を運営する「農事組合法人ファーム・おだ」の取組事例を報告していただきます。平成の大合併を経て集落存続の危機に直面した小田地区では、地区の農地を集約した農業法人の設立に活路を見出し、現在は旧村全体をカバーする13集落で、100haを超える規模の農業経営に取り組んでいます。米の品質アップや米粉パンの製造販売をとおり黒字経営を続け、若者がUターンする就職先ともなっています。

(閉会 16:30)

参加申込書

お申し込みは、電話で参加者をお知らせいただくか、表に記入のうえ、郵送、FAX、電子メール等で送付してください。定員になりしだい、受付を終了します。

お名前	所属

お申し込み・お問い合わせ

三重県農林水産部 農山漁村づくり課 農地水保全班

〒514-8570 津市広明町13番地

E-mail: nozukuri@pref.mie.jp TEL: 059-224-2551 FAX: 059-224-3153